

今年度で
終了！

16～27歳迄の 女性のあなた！ HPVワクチン接種のお勧め



●HPVワクチンとは

- ・定期接種期間中にHPVワクチンを接種できなかった方への救済措置となります。
このワクチンは子宮頸がんの発症に対する予防効果があります。
- ・HPV感染によって引き起こされる子宮頸がんでは年間約3,000人の女性が亡くなっています。
この癌は20歳代から増え始めて30歳代で子宮を失ってしまう方も、年間約1,000人います。
- ・この癌によって手術を受ける女性は年間10,000人以上おり、命が救えても不妊などの障害が残ります。

●メリット

- ・このワクチンを自費で受ける場合、3回で約100,000円のコストが掛かります。
- ・適切な接種を受けることによって癌を引き起こすウイルスの80～90%を防ぎます。
これによって癌になる前の状態や子宮頸がんそのものに対して予防効果があることが分かっています。

●公費負担

- ・補助が受けられなくなる期日が近づいている年代があります。この制度を受けるには、2024年9月末までに初回接種を受ける必要があります。
- ・ご確認のうえ検討をお早めに、そして接種を受けることをお勧めいたします。

●相談先

- ・実際の接種方法や副反応等の詳細については、厚生労働省のウェブサイト、または行政機関の保険センターやワクチン接種医療機関の医師にご相談ください。当クリニックでも受付しております。

●健康被害の救済

- ・HPVワクチンに限らず、現在日本で行われている法律に基づくワクチンについて予防接種健康被害救済制度があります。

保護者の方におかれましては、是非お子様と話し合ってみてはいかがでしょうか。

是非ご自身でお調になって、HPVワクチンについて知ってください。

ワクチンで守れる命について一緒に考えてみませんか？